

C-1 指導案

2年2組 英語科学習指導案

平成17年6月29日(水) 第5限
授業者 教諭
場 所 2年2組教室

1 単元名 PROGRAM4 With Love and with Joy

2 単元目標

- (1) 物語について感想や意見を持ち、積極的に音読活動に取り組むことができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 絵や写真を見て、その状況を簡単な英語で自己表現し、相手に伝えることができる。
(表現の能力)
- (3) 物語を読んで、その概要や要点を理解し、本文内容についての質問に正しく応答できる。
(理解の能力)
- (4) there is (are)や must の表現を正しく理解し、運用することができる。
(言語や文化についての知識・理解)

3 学習にあたって

(1) 教材観

Program 4は Reading の課であり、言語の4技能の1つである「読んで理解する力」の育成が主要な目標である。また読み取りのために必要となる言語材料としては、存在文とも呼ばれる There is (are) 構文の理解と、必要・義務の助動詞 must の理解が必要になる。これらの言語事項を理解したうえで、内容の読み取りが始められる。本課の内容としては、マザー・テレサの奉仕活動のエピソードを読み、社会的弱者に救いの手を差し出す「愛の精神」と「平和を愛する心」について考えることをテーマとしている。生徒には物語の読み取りを通して人間愛や助け合うことの大切さについて考えることも期待される。

(2) 生徒観

2年2組は英語に比較的興味・関心がある生徒が多い。特にコミュニケーション活動などでは、理解度に個人差もあるものの、グループ活動に積極的に参加しようという生徒が多く見られる。その一方、本校で取り組んでいる、授業のはじめに行う前時学習の定着確認シートなどからは、新文型や言語事項に対して更なる定着を図る必要性も感じる。

課題に対して、主体的に取り組む、書くことについては、単に正答できて満足するだけでなく、自己表現を加えようとする意欲的な生徒の姿勢を大いに評価しながらこれまでに取り組んできた友達との支え合い学習や、グループ内での話し合い活動を基に、更なる学力向上を期待している。

(3) 指導観

生徒の実態から新構文についての理解は、書くことによる自己表現活動を用いて、スムーズに展開できると期待できる。つまり there is (are)や must については導入において書く活動を中心に据え、言語事項の理解を図りたい。また、本文の読み取りについては、進出語句の紹介の後、各自による日本語訳を中心に読み深めていきたい。更に、セクションごとに物語の内容についての感想をまとめ、マザー・テレサについて話し合いを行い、崇高な行いを支えた人間愛を共感できるような指導を心がけたいと思う。

4 学習計画と評価規準

配時	学習計画	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
1	Program 4 Before Reading 新出事項の 導入 本時 (1/7)		・自分の家、部屋について表現できる		・there構文の運用についての知識を身につけている
1	Program 4 Before Reading 新出事項の 導入		・自分や家族のことについて表現できる		・助動詞mustの運用についての知識を身につけている
1	Section1 本文の内容理解	・スラム街でのマザー・テレサについて興味を持って音読する		・本文の内容をつかみ質問に正しく応答できる	
1	Section2 本文の内容理解	・マザー・テレサの活動について関心を持って、音読する		・本文の内容をつかみ質問に正しく応答できる	
1	Section3 本文の内容理解	・マザー・テレサの業績とボランティアについて関心を持って音読する		・本文の内容をつかみ質問に正しく応答できる	
1	After Reading 本文内容の確認・発展		・物語を通して人間愛や、助け合うことの大切さについて自分の考えを表現できる		
1	Check and Use 本課のまとめ		・絵や写真を見て、その状況を簡単な英語で表現できる		

5 本時の学習

(1) 小単元名 Program 4-1

(2) 本時のねらい 存在文を使って身の回りのものについて、表現することができる。

(3) 評価規準

B：自分の家、部屋について表現できる（表現の能力）

B：there 構文の運用についての知識を身につけている（言語や文化についての知識・理解）

(4) 展 開

時	学習内容・活動	評価場面・評価(◇)と支援(◎)
復 習 10	1 warm-up activity ・構文の聞き取り ・書き込み練習 ・variation reading	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞と名詞の関連を強調して読む ・何回も繰り返すことで構文の定着をはかる ・読みにより構文に慣れる
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ワークシートを見てもう一度「～があります。」の文をたくさん作ろう。</div>		(評価規準の確認課題)
導 入 10	2 There is 単数名詞 There are 複数名詞 ・ペアで読んで確認する ・シートでお互いの共通文を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・机間を回り、個別指導を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◇ 存在文を用いた英作文をワークシートに記入する。(シート分析)</div>
展 開 25	3 作った文章を疑問文に直しペアで練習する Is there～? Yes, there is. No, there isn't. (絵だけを見て答えるようにする) Are there～? Yes, there are. No, there aren't. (絵だけを見て答えるようにする)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">B：新構文の意味を理解して表現することができる。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">□シート以外の場面を設定したくさんの文を作る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">△構文を再度示しblankに名詞を入れてさせて表現に慣れる</div>
ま と め 5	4 教室内のものについてQA活動を行う。 (ペアワーク) 5 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分の家、部屋についても表現しよう</div> 自分の部屋にあるものを表現する それが相手の部屋にあるか聞きあう お互いの部屋に関しても質問しまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない単語については指導する ・できるだけくさんの事物について質問しあえるようヒントを与える <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◇ 存在文を用い自分のことについて表現する。(シート分析)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">B：自分のことについて多様な表現ができる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">□時制や文型・文体をかえて表現する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">△まず絵に描き文へと展開する</div>